

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.10-R	調査位置				北緯	36° 27' 36.8100"				
発注機関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2008-03-06 ~ 2008-03-07			東経	140° 06' 07.9400"		
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者		
孔口標高	79.02 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機		
総掘進長	7.00 m							エンジン	ハンマー 落下用具 ポンプ		

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試験深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日	
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量 (cm)								
													0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)												
1	78.82	0.20	0.20		耕作土シルト(M)	暗褐			シルト主体で植物根混入 上部腐化物混入。GL-0.5mより含水多く軟弱である。粘性ややあり		03/06 0.70	1.15	1 15	1 15	2 30	2								
2	77.72	1.10	1.30		礫混り細砂(FS-G)	暗褐～暗灰		非常に緩い	含水多い。砂は粒子微細である。 礫径は 2～20mm程度で混入やや多い 全体にシルト分を含み、部分的にシルト質である。ルーズである。			1.45				3	3							
3												2.15	1	1	1	3	5							
4	75.22	2.50	3.80		固結シルト(M)	暗灰			含水少ない。風化著しく手でつぶれる。風化岩である。			2.45				5								
5	74.32	0.90	4.70		中硬岩(MR)	暗灰			上部若干風化している。 GL-5.0m付近。砂岩で斜め方向に亀裂が見られる。 GL-6.0m～7.0m 砂岩で風化は見られず新鮮でRODは良くコア採取率は80～90%である。			4.15	9	9	9	27	27							
6												4.45	50			50								
7	72.02	2.30	7.00									5.00	50			50								
												5.00												
												6.00	50			50								
												6.00											03/06	
												7.00	50			50								
												7.00											03/07	